

# 重点施策①「夢」発見プログラムのさらなる充実

雲南市では、町村合併の協議での提案（ふるさと教育など特色ある小中一貫したカリキュラムの作成等）を基に、第 1 次計画期間中に、「『夢』発見プログラム（雲南市キャリア教育推進プログラム）」を策定しました。第 2 次計画以降は、キャリア教育を本市教育の中心に据え、「自立した社会性のある大人」を育成する取り組みとして推進を図ってきました。当初は「小中学校版」としていましたが、第 2 次計画期間中には「幼児期版」が、第 3 次計画期間中には「高等学校版」が策定され、就学前から高等学校まで共通理念の下、発達段階に応じた教育活動を展開してきました。

第 4 次計画では、「社会に開かれた教育課程の実現」に向け、プログラムの内容を学校運営協議会で議論し、「Society5.0」や「人生 100 年時代」に対応した学習や、「SDGs」といった世界規模の課題から地域社会における課題解決へとつなげる学習 (ESD) など、変化の激しい社会に対応した学習を展開するなど、プログラムのさらなる充実が求められています。

また、令和 2 年度から全国的に運用が始まる「キャリアパスポート」については、平成 30 年度から先進的に取り組んでおり、高校までつながる仕組みが構築できました。今後は、「夢」発見プログラムと連動した活用を図ることにより、より良い進路選択や自己実現につなげていくこととしています。



## 「夢」発見プログラムを中心としたキャリア教育の推進による「自立した社会性のある大人」の育成

キャリア発達を促す 基礎的・汎用的 能力（要素）	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
	●他者への働きかけ   ●他者理解 ●コミュニケーション・スキル   ●チームワーク ●リーダーシップ	●自己理解   ●自己抑制・忍耐力 ●自己表出・主体性   ●ストレスマネジメント	●情報の理解・選択・処理   ●本質の理解 ●原因の追求   ●課題発見   ●計画立案 ●実行力   ●評価と改善	●学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 ●多様性の理解   ●将来設計   ●選択

## キャリア発達を促す基礎的・汎用的能力を育成するために、雲南市の題材を活用して、それぞれの子ども像を目指す取り組みを実践する。

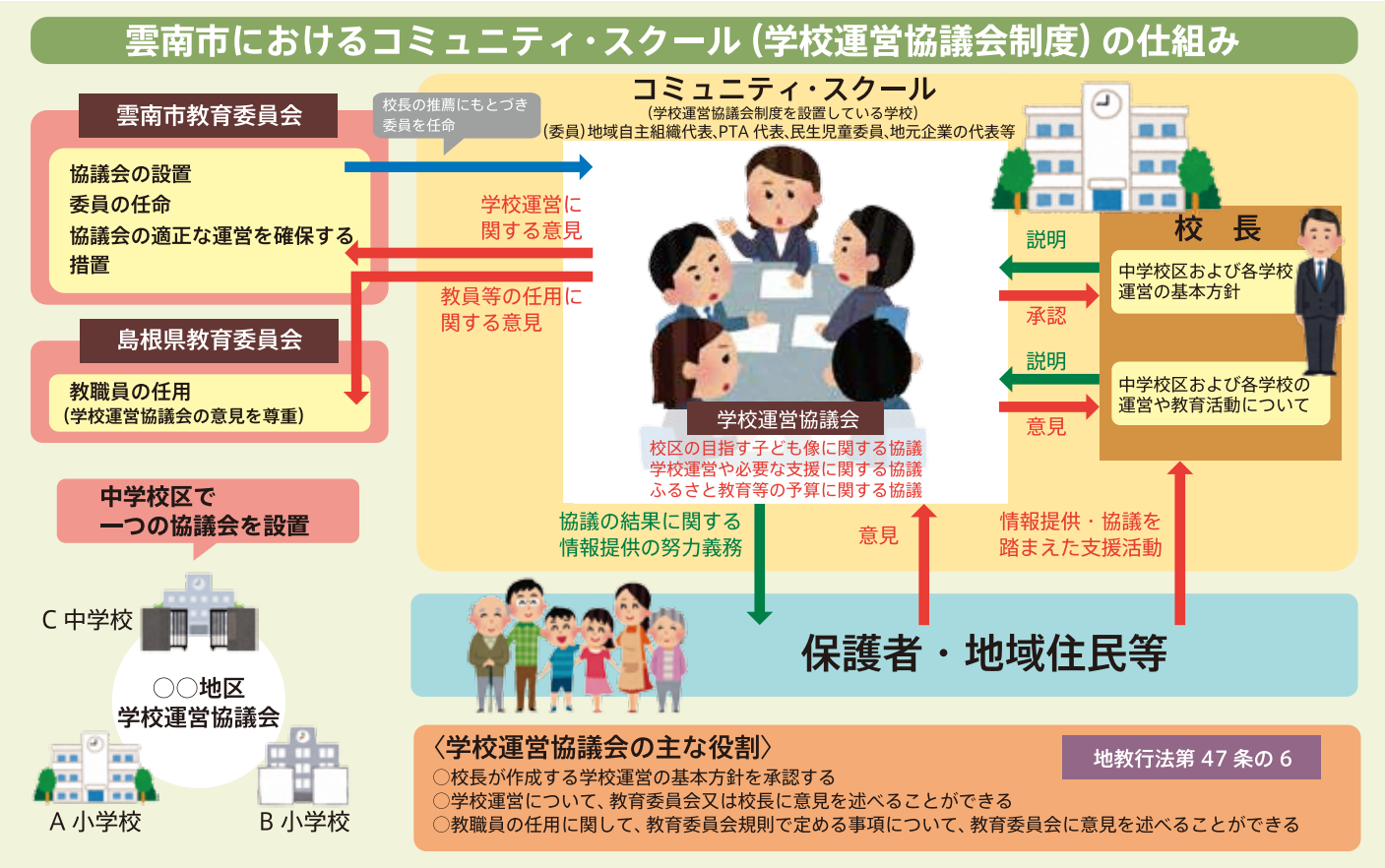
高等学校での取り組み		中学校までの学びを基に、課題解決型学習等（地域課題研究、地域産業研究、地域理解学習）を通して、より良い進路選択や自己実現につなげていく							
共通題材		平和と人権		世の中の仕組みと勤労		自然環境・歴史と文化		基礎的体力・生活リズムと「食」	
義務教育修了時でのめざす子ども像		思いやりの心を持ち、「いのち」を大切にする子ども		個性を発揮し、社会に貢献できる子ども		ふるさとを誇りに思い、自分に生かす子ども		健康な心身を持ち、自己をコントロールできる子ども	
小中学校での取り組み例		■永井隆平和賞 ■永井隆博士の生き方を学ぶ ■人権教育  		■「夢」発見ウィーク（市内一斉職場体験） ■ものづくり、収穫体験 ■社会で働く人から学ぶ  		■ヤマタノオロチ伝説 ■たたら製鉄や銅鐸、神楽など、自分のまちの伝説や自然環境、伝統文化を学ぶ  		■基本的生活習慣の確立 ■お弁当の日 ■はやねらデー  	
就学前	活動内容（共通題材）	●お誕生日おめでとう   ●いろいろな人と出会う ●生きもの大好き   ●お花も野菜も大きくなあれ		●お手伝いできるよ   ●〇〇を作ろう ●ごっこ遊び   ●こんなお仕事あるだね		●ふるさと大好き   触れよう   楽しもう   味わおう ●自然大好き   感じよう   見つけよう   楽しもう		●体も心もげんき   ●体をいっぱい動かそう ●キッズクッキング   ●テレビやゲームはお休みだよ	
	幼児期に育てたい9つの力	集団の一員としての意識をもち生活を営む力	命に感謝し、喜んで食べる力	いろいろな運動を楽しむ力	「ひと・自然・もの・こと」とかわろうとする力	自分のよさに気づき、自信をもつ	人とコミュニケーションをとる力	自分を豊かに表現する力	自分の行動をコントロールする力
「夢」発見プログラム 充実の基礎となる学校教育 の主な取り組み		学力育成			特別支援教育			生徒指導	
		■授業力向上の取り組み（スーパーティーチャー活用事業、授業プランニング講座、学力育成推進委員会の設置、小学校社会科副読本の作成等） ■外国語教育の推進（指導担当主事、ALT、AETの配置等） ■家庭学習の充実（家庭学習の手引きの配布等）			■インクルーシブ教育システムの推進 ○早期からの教育相談の充実（子ども家庭支援センター「すワン」） ○教職員の子ども理解と授業力向上 ○切れ目のない支援の充実（早期支援、関係機関との連携）			■不登校対応ガイドラインや児童生徒記録票の活用 ■教育支援センター「おんせんキャンパス（適応指導教室）」の設置による不登校支援 ■高校生年代への学習支援や体験活動による将来的なひきこもり防止（おんせんキャンパスサテライト教室の開設）など	
社会教育における主な取り組み		中高生の！幸雲南塾		スペシャルチャレンジ・ジュニア事業		どうぶ☆えいご		放課後や長期休業等の支援	
		生徒が自分自身の興味・関心や社会課題等について探求できる場（課題解決型学習プログラム）  		次世代のまちづくりのリーダー人材の育成を目指し、チャレンジ精神にあふれる中高生（ジュニア）の国内外における学びやマイプロジェクトへの助成  		たくさんの人とふれあいながら英語にふれるプログラムです。自分らしく楽しむことで自信を持ち、自分の世界を広げていく「きっかけ作り」の時間です。  		■放課後子ども教室（市内各地域での見守り活動等のほか、週末や長期休業等に行う体験プログラム「うんなん元気っ子わくわく教室」の開設） ■第三の居場所（就学援助受給児童を対象にした学習支援、自立支援、体験活動等） ■ふるさと雲南キョロキョロ探検パスポート（年間を通して市民バスを利用出来る乗車券）	

保幼・小中高一貫・学校内外を通じたキャリア教育の実践、キャリアパスポートの効果的活用



重点施策② コミュニティ・スクールの活性化

雲南市では、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置している学校）」を、中学校区を単位としてすべての校区で設置しています。学習指導要領でめざす「社会に開かれた教育課程の実現」を図っていく上で、地域や保護者など多様な主体が参画し、学校経営を共に担っていく仕組みとして、その役割が益々重要になってきます。今後は、参画者がより主体的に学校経営を担ってもらうためにも、学校運営協議会に予算を配分し、地域とともにある学校づくりを推進します（「地域とともにある学校づくり推進事業」）。



重点施策③ 各種コーディネーターの効果的活用と連携の強化

雲南市では、小学校に地域コーディネーター、中学校に教育支援コーディネーター、高等学校に教育魅力化コーディネーターを配置しています。それぞれのコーディネーターは、学校と地域、学校と行政、行政と地域等を結び、児童生徒の多様な学びや育ちを支援しています。限られた人材・予算の中で、学校や行政は効果的な活用を図るとともに、校種間や地域間の連携を強化していきます。

コーディネーターの種別	地域コーディネーター	教育支援コーディネーター	教育魅力化コーディネーター
校種、校数、人数	小学校、15校、15名	中学校区、7校、7名	高等学校、3校、5名
主な役割	■地域人材の発掘 ■授業等への講師依頼・調整 ■人材バンクの作成等	■コミュニティ・スクールの推進 ■「夢」発見プログラムの推進 ■子どもの多様な学びへの支援	■高校での探究学習の推進 ■チャレンジを育む教育環境の創出

雲南市教育委員会

〒699-1392 島根県雲南市木次町里方 521-1  
TEL:0854-40-1071 FAX:0854-40-1079  
E-mail:kyouikusoumu@city.unnan.shimane.jp

第4次  
雲南市教育基本計画

＜令和2（2020）年度～令和6（2024）年度の概要＞

雲南市教育基本計画とは

雲南市教育基本計画（以下「計画」）は、「雲南市総合計画」や島根県の「しまね教育魅力化ビジョン 21」、国の「教育振興基本計画」を踏まえ、教育基本法第 17 条第 2 項に規定する地方公共団体における教育振興基本計画として位置づけるもので、中長期的に取り組むべき本市の教育課題や目指すべき姿、取り組みの方向性等を示すものです。

平成 17 年 3 月に第 1 次計画を策定以降、本計画に沿って本市の教育を推進してきており、第 4 次計画ではこれまでの基本理念を継承した上で、「Society5.0」や「人生 100 年時代」など変化の激しい社会において、将来の雲南市を担う子どもたちが、夢と志をもち、可能性に挑戦するために必要となる力を育むことに取り組んでいきます。

【教育基本目標】  
ふるさとを愛し 心豊かでたくましく  
未来を切り拓く 雲南市の人づくり

【目指す人物像～ふるさとの偉人～】  
「故郷を愛す 国を愛す 世界を愛す」「如己愛人」  
の精神を身に付けた人づくり



上代タノ氏（日本女子大学第 6 代学長）  
雲南市大東町出身



永井隆博士（医学博士、随筆家）  
雲南市三刀屋町出身



【具体目標】

- 自然・伝統・文化を基盤として、社会の変化に対応して生き抜く力のある人づくり
- ひと・もの・こととの出会いによる豊かな人づくり
- 健やかな体でたくましく生きる人づくり
- 夢に向かって生き生きと学び、知恵と創造性に富む人づくり

【目標達成に向け子どもの学びや育ちを支援する基本的な柱】

- 重要施策① 「夢」発見プログラムのさらなる充実
- 重要施策② コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の活性化
- 重要施策③ 各種コーディネーターの効果的活用と連携の強化